

『穂いもち』警戒と防除対策

先週、県病害虫防除所から「穂いもち」への警戒情報が発表されております。① 穂いもちの伝染源である上位2葉への「葉いもち」の発生が多い。② 東北地方の向こう1か月の降水量が多く、日照時間は平年並みか少ないと予想されていることから、県内でも発生が懸念されております。大潟村での発生はまだ小発生ですが、各自の圃場を確認のうえ上位葉への発生が見られる圃場ではつぎを参考に防除対策を講じてください。

穂いもち防除対策

1 傾穂期（出穂後2～3週間程度）の圃場 ①～③のいずれか

- ① トライフロアブル 1,000倍で60L/10a
8倍で800ml/10a(無人ヘリ)
- ② ビーム粉剤DL 3～4 kg/10a
- ③ ビームエイトゾル 1,000倍で60L/10a
8倍で800ml/10a(無人ヘリ)

2 傾穂期以降の圃場 ①～②のいずれか

- ① ラブサイド粉剤DL 3～4 kg/10a
- ② ラブサイドフロアブル 1,000倍で60L/10a
8倍で800ml/10a(無人ヘリ)

技術情報は、ホームページ「営農情報」<https://www.ja-ogata.or.jp/farming/>にも掲載しております。
(組合員専用ページです。ID とパスワードを入力してください。)

ID : jaogt (半角小文字) パスワード : eino3033 (半角英数文字)